



ボランティア通信 2019. 12 Vol. 236

ななかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel894-3737)
(Fax891-3340)

ご協力ありがとうございました 第28回健康福祉フェスティバル



11/10
各ブースとも
盛況でした



好天に恵まれ多くの来場者で楽しい一日となりました。ボランティアのみなさんのご協力で大きな混乱もなく、それぞれのブースにおけるボランティアグループ連絡会のPR活動もできました。今年は食料品ブースをやめて、バザー・古本市・植木市の3ブースとし、館内では高齢者疑似体験・ボランティアグループの活動紹介などを実施しました。またバザー用品、植木、書籍など多くの品物をご提供いただき、大変ありがとうございました。各ブースの収益金はボランティアグループ連絡会の活動費に充当させていただきます。



ボランティア インタビュー80 山中栄子さん(ほほえみ)



いつの間にかボランティアを始めていました

随分昔のことなので、ボランティアを始めたきっかけなどはっきりと覚えていません。いつの間にかいろいろな活動をしていたというのが正直なところです。

無我夢中だった成人学級

最初は高齢者施設「明星」で食堂や風呂場の掃除をしたりスリッパの裏を拭いたりなどのボランティアをしていました。

その後、市役所の一部を借りて午前中だけでも保護者が楽になるようにと、障がいのある人と一緒に過ごすボランティアを始めました。

ゆうゆうセンターが出来てからは場所を市役所別館から移し

できることを何でもしていました。学校の「さくらんぼ学級」では長く同じ姿勢が保てない子供を抱っこして散髪をしてもらうお手伝い。また農家さんの協力で芋掘り体験をしたこと、クリスマス会のイベントもしました。キャンプの手伝いには自分の子どもの手を引いて参加したことなどが懐かしく思い出されます。

平成8年に会の名前が「成人学級」から「ほほえみ」に変わり現在の「ほほえみ」の活動の基礎となりました。

今後はどうして

いきたいですか

誰もが集える場所が地域にいればいいなあと思います。自分たちのために「出て行くところを作る。家に籠らないで集まる場所を作る」、そういう居場所が数多くある交野であってほしいと、いつも願っています。だって人との出会いが嬉しいから、いろんな話がいっぱい聞けるから、人はひとりでは生きていけないから、支え合うことを大切にしたいです。

リーダー会議(11月26日)

☆会長挨拶

・ゆうゆうバス運行問題の経緯
・交野市地域福祉計画推進審議会での検討経過等について
・市民交流フェスタの取り組み
・令和3年3月開催とする

・登録ボランティア交流会について
・隔年開催を基本に平日開催も視野にいたれた方向で次年度開催を検討

☆連絡会より

・健康福祉フェスティバル会計報告
及びアンケート結果報告等
・ボランティアセンター大掃除報告
(2頁参照)

・ボランティア講座開催について

・次期役員改選について(2頁参照)
指名委員会の開催は来月中旬以降に開催(担当グループ委員は、さつき・星の会・虹の会・あい・ほほえみの5グループ)

☆Vセンターから

・厚生労働大臣表彰について
(2頁参照)

・ホームページのグループ紹介の内容更新は12月のリーダー会議までとする

・ボランティアセンターの年末年始の休館について(2頁参照)

・ボランティアサロンについて
☆各グループから(省略)

編集
後記

珍妙なカップル



ニワトリとワンちゃん
2ショット?

十二支最後の亥年、その極月(ごくげつ)12月を迎えました。今年もお世話になりました。さて、十二支に並ぶ動物たちの仲

睦ましい? 光景をご笑覧ください。母が世話をしていた老雌鶏は母の亡き後、鶏小屋を出て飼う犬に寄り添うようになったそうです。因みに、亡き父母の干支はそれぞれ酉(とり)と戌(いぬ)にあたります。父母の代りを想わせるような珍妙な縁を面白がっている子どもたちです。
来る十二支初めの子年がより良い年になりますよう祈ります。
(ありんこ)

黒田直美さん

厚生労働大臣賞を受賞



「令和元年度大阪府社会福祉大会」が11月26日に大阪国際交流ホールで開催されました。

この大会で、交野市から長きに亘り、社会福祉活動にご尽力いただいた黒田直美さん（外出支援「かざぐるま」）が令和元年度ボランティア功労者個人の部で「厚生労働大臣表彰」を受賞されました。おめでとうございます。

ボランティアグループ連絡会

次期役員選出について

令和2・3年度の役員選出を規約に則り、下記の通り役員立候補者を募集します。候補者の自薦・他薦を問いません。

会 長		1名
副会長		2名
書 記		1名
会 計		1名
会計監査		1名

任期 令和2年4月から2年
立候補資格 ボランティアグループ連絡会所属員
締切り 令和2年1月15日(水)
届出 ボランティアセンター事務所前の立候補・推薦箱に投函ください。
ボランティアグループ連絡会「指名委員会」

2020年版 点字カレンダーを作成

ボランティアグループ点訳「虹の会」では2020年版点字カレンダーを作成しました。

ご希望される方はボランティアセンターに申し込んでください。無料で進呈します。

配布は12月中旬以降です。



点字カレンダー表紙

ボランティアグループ連絡会

ベストが初お目見え

赤い羽根共同募金助成金で作成しましたベスト50着が健康福祉フェスティバルで初お目見えしました(写真下)。左胸にボラちゃんマーク、背中に交野市ボランティアグループ連絡会の文字が入っています。



第28回健康福祉フェスティバル当日「高齢者疑似体験」等でベストを着用しました

ボランティアセンター大掃除

6グループ33人が参加

ありがとうございます

11月18日(月)、ボランティアセンター秋の大掃除に6グループ(陽だまり、かざぐるま、アリス、さつき、星の会、虹の会)33人の参加がありました。怪我に注意しながら清掃しました。網戸も洗ってすっきりです。ボランティアセンターが建ってから22年になります。が、これからも長く使えるように、ボランティアのみなさんのご協力をお願いします。

ボランティアセンターから ☆年末年始休館のお知らせ

12月27日(木)～1月5日(土)
この期間中のセンターの利用はできません(センター業務は27日まで)

みんなで祝福しました

3年くらい前になるでしょうか、在宅暮らしの若い女性が「ほほえみ」のボランティアに入ってきました。物静かで、清潔、真面目な彼女は頼んだことはきちんとこなし、よく動いてくれました。高齢者ばかりの中にあつて、まさにアイドル的な存在でした。

その彼女が先日、みんなの前で「少しお話があります。今度結婚することになりましたので、ボランティア活動をやめなければならなくなりまして」と言われて、居合わせ



た皆がびつくりするとともに、こんなに嬉しいことはない大喜びしました。障がい者も健常者も一緒に生きようと活動している私たちのグループにとって、社会参加でできる人が生まれることが究極の目的で、本当に嬉しい出来事でした。

みんなのひろば

ストローの行方

プラスチックごみを減らす運動が広がりを見せ始めた。その中で、まずストローを無くそうとの動きが具現化しそうだ。

そのストローであるが、世界で初めて使われたのは、なんと紀元前6千年の頃だという。メソポタミアの遺跡から、ストローのようなもので飲み物を飲む図が見つかっている。

ストローとは本来、英語で「麦わら」という意味で、当時から麦や葦の茎が使われていたようで、飲み物に混じる不純物を飲み込まないようにするために使われていたと考えられている。

いまや、紙パックのジュースにまで1つ1つ装備され、生活のなかで必需品としての地位を保ってきたストローだが、その材質を巡って、プラスチックからどのような材質に変わるのか、少し気になるところだ。どうしてもえやないかという声もあるが・・・(T記)



中学生の職場体験

ほほえみでボランティア活動

10月31日(木)関西創価中学2年生の男子生徒2名が「ほほえみ」の活動に参加してくれました。前日は、高齢者の疑似体験をしてきたそうです。

いつも午前中はペットボトルのキャップの整理をしています。この日は11月10日の「健康福祉フェスティバル」で子どもたちの遊びコーナーで使うチラシで作るクッション材作りの作業をしてもらいました。黙々と単純作業をこなし、たくさんの材料を作ってくれました。

2人のうちの一人は、学校の側の寮生活だそうです。この歳で親元から遠く離れた寮生活を経験して、自立したたくましい大人になってくれることと思いました。



人生百歳というけれど喪中葉書が届くと

毎年のことであるが、11月のこの時期は先輩や友人から届くのが喪中を知らせる葉書だ。

いまや人生百歳といわれるが、まだまだ実感できない。届いた葉書の文面をみて、父、母〇〇歳で永眠とくれば、相応のお歳だなとか、まだ若いなと思いつつも、近頃の動揺はない。これが歳の近い先輩や同僚と来ればそうはいかない。まして後輩や友人の配偶者となればなおさらである。

今年もすでに14通もの葉書が届いた。その中に同僚や後輩の計報が3通、去年より1通増えた。冥途の旅には早すぎると・・・。

そして残りの人生をどう生きるか自問自答する時でもあるが、くよくよしても始まらない。そこで思い出す歌に「これから音頭」がある。その一節を紹介しよう。「喜寿も米寿も白寿も無事に越えて見せるの心意気、まだまだ人生これからだ」と励ましている。